

# 記事づくり虎の巻

デイリーポータルZ編集部・編

# 広告



作品お待ちしております (2017/4/2 締切)

<http://portal.nifty.com/rookie2017/>

**企画の考え方** ~平凡なことでもネタになる

**記事の書き方** ~余計なことを書こう

**記事の書き方** ~テクニック

# 記事のパターン

① あからさまに珍しいもの



② 平凡なものをアレンジする

さわり心地とにおいがいい辞書はどれか



# ① あからさまに珍しいもの

はっけんの水曜日 2012年8月8日

## 自衛隊機で武装した喫茶店を発見!?



この自衛隊機、個人が所有しているものなんです！

はっけんの水曜日 2012年6月13日

## 紫の麺に真っ黒スープ! 妖怪の街のやばいラーメン



口に入れる物としてはかなりハードルの高いカラーリング……

- ・たいていナニコレ珍百景で取り上げられている
- ・テレビではこう伝えてたけど実際は…という切り口も
- ・この場合は妙にいじらずにそのまま書く

## ② 平凡なものをアレンジする

フェティッシュの火曜日

### タキシードハイキング

梅雨に入る前の晴れた日にどこか行楽でかけたいと思って高尾山に出かけた。

事前にCHPで調べていると山をあんまりなめなさんなのが書いてあった。飲み物とは別に傷を洗ったりもできるから水を持っていきなさいとか、飴を持っていくとこまめに疲労回復できますよとか。

ちょっとハイキングにでも、で遭難したらそりゃ残念だ。今回はきっちりした気持ちでハイキングに臨むことにした。

(大北 栄人)



飴や炭水化物、スポーツドリンクに水やタオル、2時間程度のハイキングでもこれくらいは準備しておきたい



フェティッシュの月曜日

### スーパー看板コレクション

▼クリックしてください



語る, 集める, ひねる…

珍しいものを探さなくても記事になる！

# 整理すると

素材

×

アレンジ



訪問

高尾山



# どっちかでキャッチャーになつていればOK

素材

アレンジ

題材が珍しければそのままでいい

素材

アレンジ

アレンジのみという場合も

あの鳥取にスタバができてしまった



「スタバなし県」の終わりに出来た行列

5月23日土曜日。唯一のスタバなし県であった鳥取県にどうどうスタバができてしまった。



# 平凡なものでも記事になる

パワポ × 時代を変える

セミ × ピンクの照明

チャレンジの日曜日

## ペリーがパワポで提案書を持ってきたら

最近知ったのだが、いまセンター試験って国立大学だけじゃなくて私立大学もたくさん参加しているのだ。

きっとセンター試験に参加しませんかって提案書を持って大学を回った人がいるのだろう。パワーポイントで作ったA4横の資料だ。

紹介から始まって、費用や役割分担、スケジュール案だろうが。

そう思うとなんでも提案書が作れる気がしてきた。日本でいちばん笨重なあの交渉ごとで提案書を作ってみよう。

仕事じゃない!パワーポイントって楽しいですね。(林 雄司)



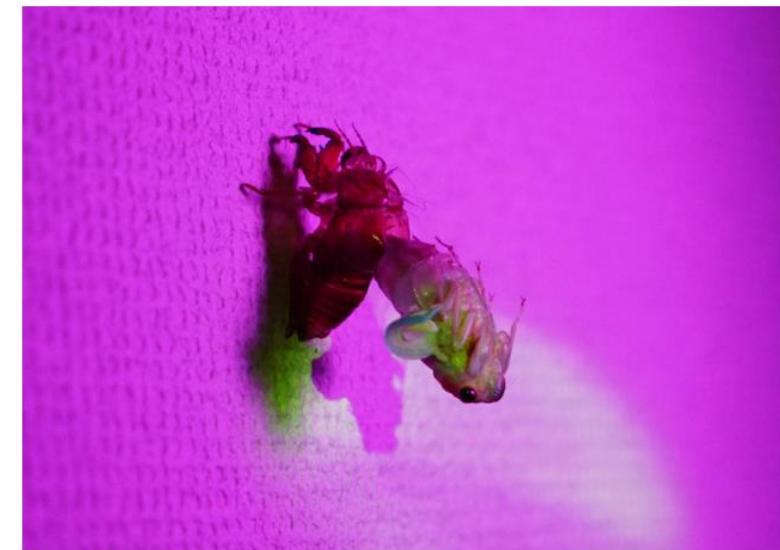
開国しませんカー?

### 開国させるための資料を作ります

自分がペリーになつたつもりで日本に開国を促す提案書を作ってみた。ペリーの肖像画は著者の死後50年が経っているために自由に使えるようになっていた。ラッキー。

はっけんの水曜日

## セミの羽化がセクシー!



ちょっとだけよん♡

夏の暑さを増幅させる音響装置として、セミは今年も鳴きまくった。

セミの幼虫は夜に地上に抜け出し、羽化をして成虫になる。褐色のボディから白無垢の成虫が飛び出し、流し目でのぞる羽化のシーン。あれを艶やかに演出し



伊藤健史

(いとうけんじ)

1975年神奈川県生まれ。普段は会社勤めをして生計をたてている。有事生物やほのまががにまつまつと高音

# 平凡なものでも記事になる

BOXY × 大きくする

路線図 × 目的を変える

ロマンの木曜日

## BOXYを大きくした



ロゴ部分の「BEXY」は、「べつやくが作ったでかいBOXY」の略です。

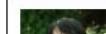
はっけんの水曜日

## 料理のレシピを鉄道路線図っぽく表現してみる



こういうことがやりたかったんですね

鉄道路線図とレシピって似ている。



西村まさゆき

# 平凡なものでも記事になる

たばこ × 大きくする

寿司 × 進化論

フェティッシュの火曜日

## でかいタバコの箱

ミニカーや小さな機械の写真ではメインのものの横にタバコがおかかれている。

タバコと比べてもこんなに小さいんです、と主張するためだ。でも、逆にタバコの箱が大きかったら、普通のものはすべてミニチュアに見えるのではないかだろうか。タバコの箱の大きさは絶対ではない。

ヘリケツと言われないように、実際に作ってみました。(林 雄司)



こういうの。

芝生に落ちてたタバコの箱……



いっけん普通のタバコです



フェティッシュの火曜日

2015年7月14日

## 進化の順番で寿司を食べる



どういう順番で寿司を吃るのが通っぽいかとか、そういう話をたまに聞く。白身魚から始めるのかいいとか、でも食べ方にルールはありませんからとか、結局どっちなんだという類の話である。

そこで僕は新しい順番を提案したい。  
進化だ。

原始的な生物からはじめて徐々に進化してゆくのだ。  
我々の進化15億年の歴史を寿司で振り返ろう。



林雄司  
(はやしゅうじ)  
結婚

1971年東京生まれ。ニフティ株式会社勤務。デイリーポータルZウェブマスター。主にインターネットと新宿区で活動。著書は「死ぬかと思った」(アスペクト)など。イカの沖漬けが世界一うまい食べものだと思ってる。

> 個人サイト webやぎの目



# 知ってるものの同士の意外な組み合わせ

コラボ企画 Square Clip

## 猫にかつらは似合うのか



はっけんの水曜日

2011年10月5日

## クンショウモで勲章を作る



はっけんの水曜日

2011年10月5日

土曜ワイド工場

2011年10月1日

## トカゲを釣るよ！



はっけんの水曜日

2011年9月28日

## まぼろしの「サラダパン」を求めて



はっけんの水曜日

2011年9月28日

**企画の考え方** ~平凡なことでもネタになる

**記事の書き方** ~余計なことを書こう

**記事の書き方** ~テクニック

# おもしろ記事とは



おもしろい記事

エピソード

興奮・焦り・喜び・落胆



工作がうまくいってる記事

情報

手順・設計図

# 余計なことが書いてあるDPZ



このプラモデルほしい。



ツイッターのプロフィールに  
大好物「海苔」なんて書いているけれど、これ、本当は  
「板わかめ」である。

ただ、板わかめと言ってもわからない人が多いので、全  
国的に知名度が高い海苔を便宜的に挙げているだけであ  
る。 (海苔も大好きです)



贅沢だ。前にチチ自慢で焼き肉の写真をSNSにあげた  
らそのあと蕁麻疹が出てバチが当たったと反省したが、  
これもあげたら後で蕁麻疹が出るやつだ。

# 余計なことを書く

行動

エピソードひろう

比喩・レトリック

# 余計なことを書く

行動

コーヒーを500円で買った。

エピソード

支払うときに一瞬躊躇した

比喩・レトリック

牛丼より高え

# 余計なことを書く

行動

ハンズでダンボールを買う

エピソード

水商売の人が買いに来てた

比喩・レトリック

ハロウインの準備だろうか

# 余計なことを書く

行動

ガムテを貼る

エピソード

ガムテがすっぱい匂い

比喩・レトリック

実家みたいな気分になった

# 余計なことを書く

行動

工作がかっこわるい

エピソード

気をつかってほめてくれる

比喩・レトリック

(行動で止めておくのもいいです)

# 余計なことを書くと成否から離れられる

例) ローソンの空き箱でエヴァンゲリオンを作る



失敗

# 工作レポートではなくエッセイになる



美大出で  
るのに…



失敗



公園で落  
ち込む

「頑張ったけどこの程度のものしかできなかった」人の話になる

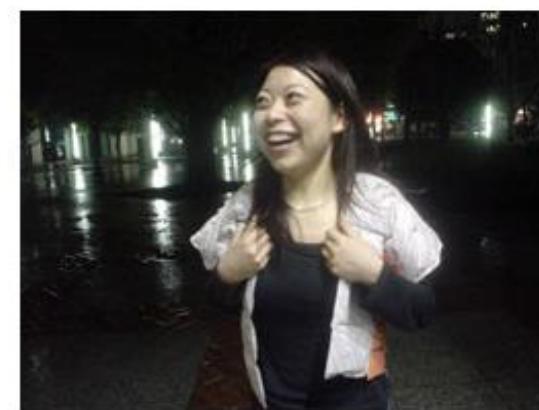
# 余計なことを書くために

興味のあるものを題材にする

おもしろがる

最初にストーリーを作らない

# 書き手が興奮してると信ぴょう性が増す



狙い) よくわかんないけどこの人がこんなになるならこれ面白いのかもしれないなあ…と勘違いさせる

# 興味のあるものだとおもしろがれる

## 知識

スカイツリーは634m

## エピソード



書き手が興奮してるとエピソードを拾いやすい  
情報がなくても共感があればOK

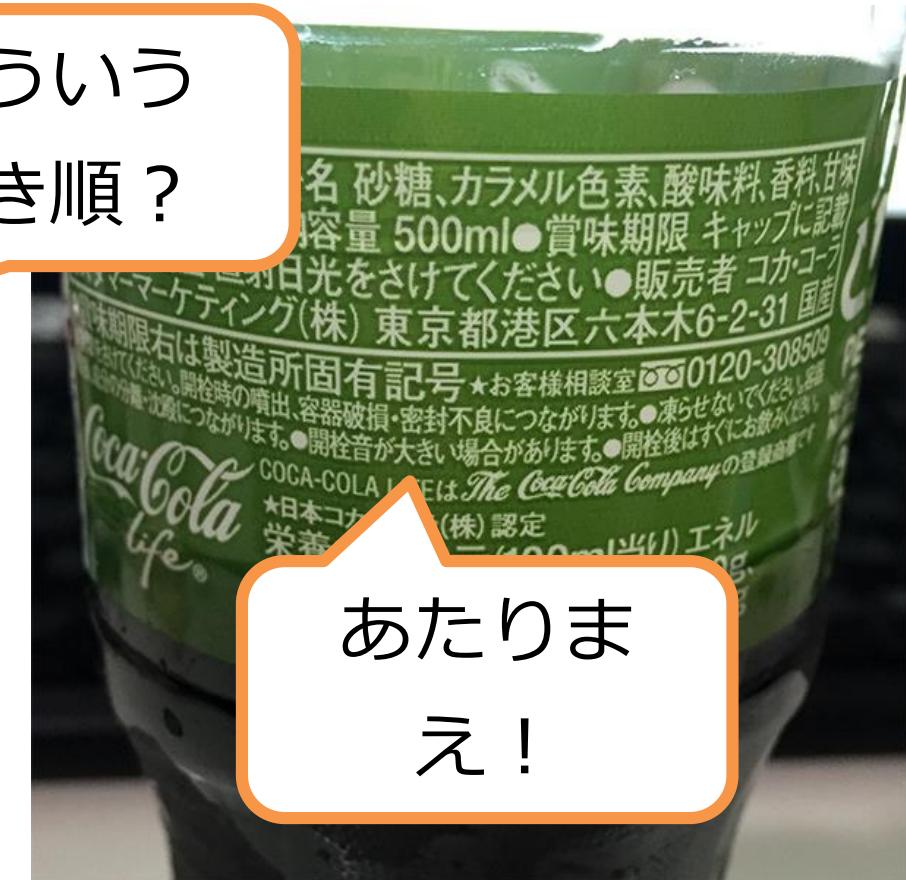
# 基本姿勢「おもしろがる」

- ・意図的になんでもおもしろがる
- ・もの・人を見て「へー」と言ってみる
- ・嫌なことがあっても「なので面白かった」と言ってみる

# よく見るとおもしろい



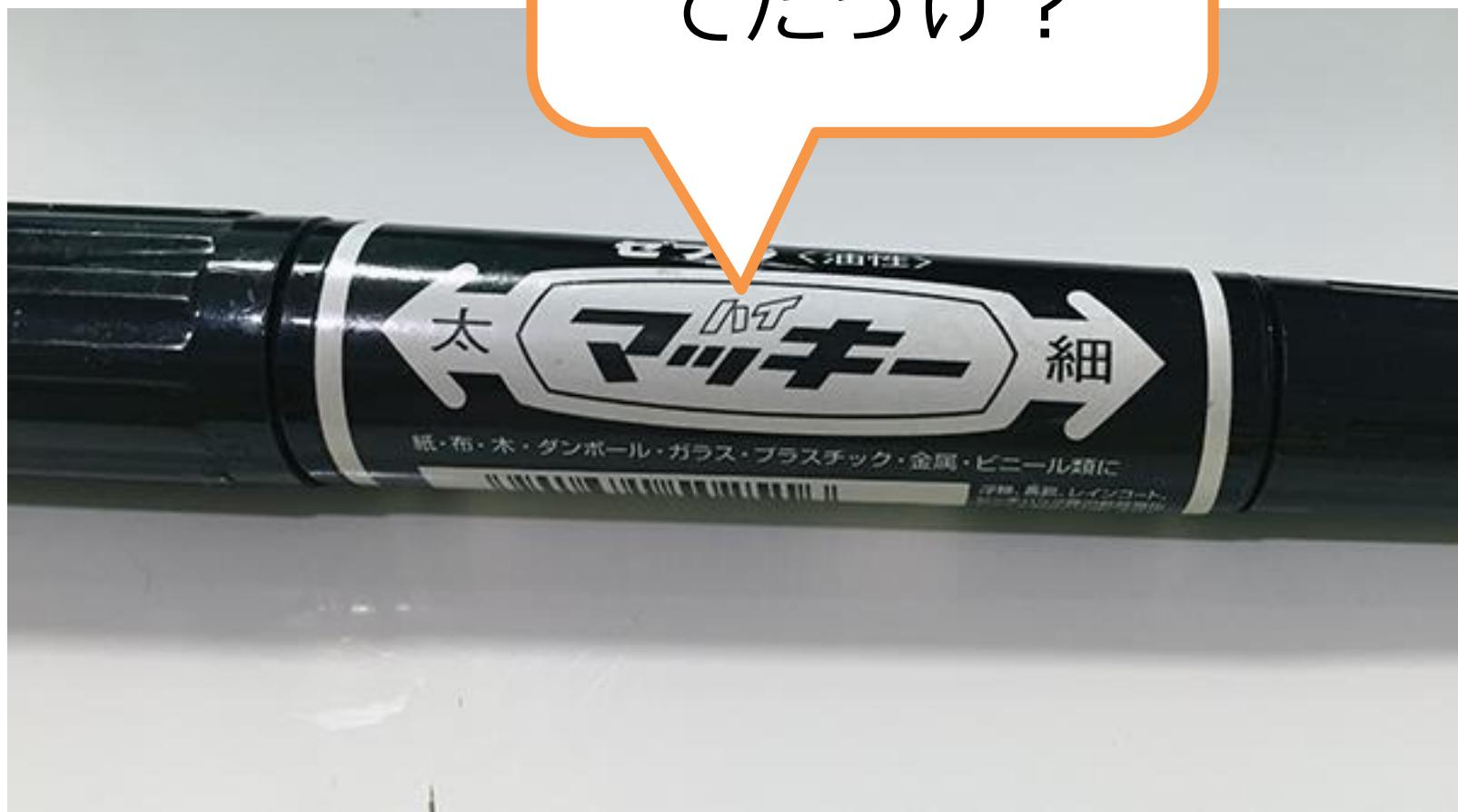
どういう  
書き順？



あたりま  
え！

しゃくれて  
る

ハイってつい  
てたっけ？



# あらかじめストーリーを作らない

予測できない  
状況を作る

自ら体験

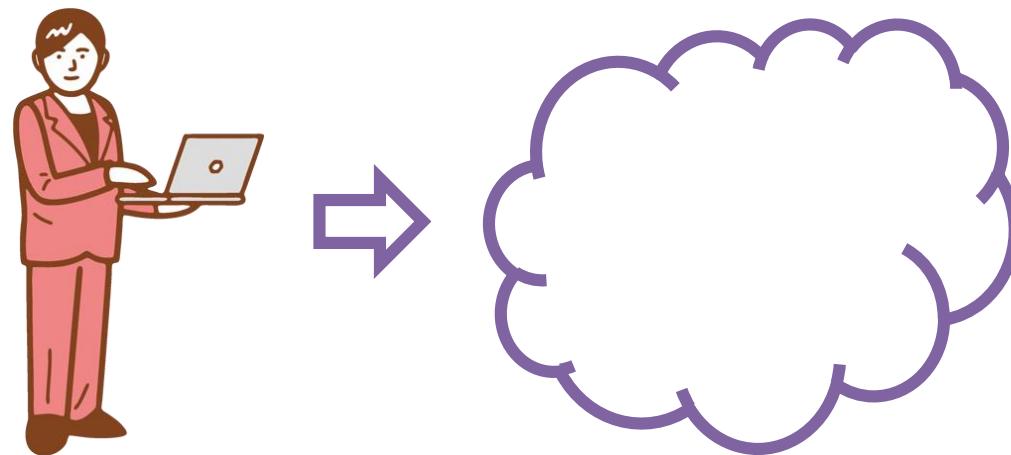
失敗しても  
OK

現場のエピソード優先で



## 記事を作るときの基本姿勢

なにがおこるかわからない状況を作つて、身を投じる



その自分を観察する

# メモはできごとじゃなくて感情を書く

6 しかし中に入ると静かな緊張感に包まれていた。待合室のイスは座席と同じな  
7 らび。もうトイレに行けないのでいま行っておくようにとアナウンスされる。←  
8 おしっこしたくなる。 ←  
9 ←  
10 リニアが走り出す。←  
11 景色は全く見えない。地下鉄である。モニターだけが速度を感じる。←  
12 キャプテン EO みたいに車体を揺らされて 500 キロという映像を見せられてい  
13 るだけだったらどうしよう、というかこんどそれを作ろう。←  
14 乗るときもぜんぜん車両が見えなかつたし、本当に乗っているのだろうか。←  
15 ←  
16 前に座っている子どもは飛行機のような窓のカーテンが気に入ったらしく、ず  
17 っと上下させていた。母親がやめろと言ってもやめない。←  
18 ばかだ。 ←  
19 一瞬見える外の景色をみな食い入るように見ているというのに。←  
20 モニターの前の席はおじいさんで、ずっとモニターの写真を撮っていた。←  
21 おじいさんは一瞬たりともこの経験を記録しなければという強い意志を感じた。  
22 未来のいとおしさが違う。←  
23 ←  
24 500 キロだと景色の流れかたが違う。←  
25 ←  
26 おれも未来を雑に扱いたいと思ってポケモン GO をした ←  
27 ←

# 体験は楽しんでいい

ひらめきの月曜日

## 油専門店で我を忘れる

### 何を買えばいいのか

飲み散らした後に残されたものは「何を買って帰るべきか」という難しき問題だ。正直、店ごと買い占めたい。全部欲しい。全部。



このピーナッツ油また素晴らしい芳香なわけ



もちろん買ひが、買ひ。



ここはおいしいラー油も欲しいところ。



もう笑うしかない匂い。買あう。

フェティッシュの火曜日

## 缶ぽっくりに最適な缶はどれだ

一斗缶で缶ぽっくりを作てもう3年（「一斗缶で缶ぽっくり」初出：2004年6月27日）。

あのころは一斗缶にこだわっていたけれど、別の缶でも楽しい缶ぽっくりが作れるのではないか。大きいだけではなく、もっと趣のある缶ぽっくりができるかも知れない。

3年前よりも老練な缶ぽっくりを目指します。

（林 雄司）



缶ぽっくりで走る

### 実は言られて考えました

もっと趣のある缶ぽっくりができるのではないかだろうか。なんて書いたが、実とあるムックの編集部から共同企画のオファーがあったのだ。

ワールドフォトプレスから出る「冒険缶詰」というムックである。

3年前の一斗缶で缶ぽっくりの記事を見て、いっしょにいろいろな缶ぽっくりを作りませんかとメールがきたのだ。インターネットを通じて知らない人から「あーそーぱー」と声をかけられたのだ（そいひばは最近そうやって人んちの前で叫んでる子どもいませんね）。

しかし僕が缶ぽっくりのオーバリティのような扱いである。わはは。オーバリティに恥じないようこいくつか缶を用意した。桃缶、粉マスタード缶、ホワイトソース缶…。缶を用意するという建前で好きなものをキロ単位で買っただけといえばその通りだ。

粉マスタードは撮影の前に挨拶がわりにおすそ分けした。

子どものころ、近所のバス停に見たことないお菓子を配るおばさんかしげーが、初対面の人にマスタードの粉を配りながらぞ



今回用意された缶の数々



# 安易な自虐より素直にはしゃいでる姿が好評

**企画の考え方** ~平凡なことでもネタになる

**記事の書き方** ~余計なことを書こう

**記事の書き方** ~テクニック

# 入り口は情報にしておく

入り口は  
情報

エピソードで  
自分を出す

顔なじみに



激辛グルメ日本一決定戦



遠くを見てしまう

# タイトルで言い切る

フェティッシュの火曜日

2012年9月18日

## 足立区の団地のラジオ体操のポスターがすごい



はっけんの水曜日

2012年5月9日

## 食べ比べてみたら、刺身こんにゃくは意外に美味かった



一見するとイカの刺身ですが。

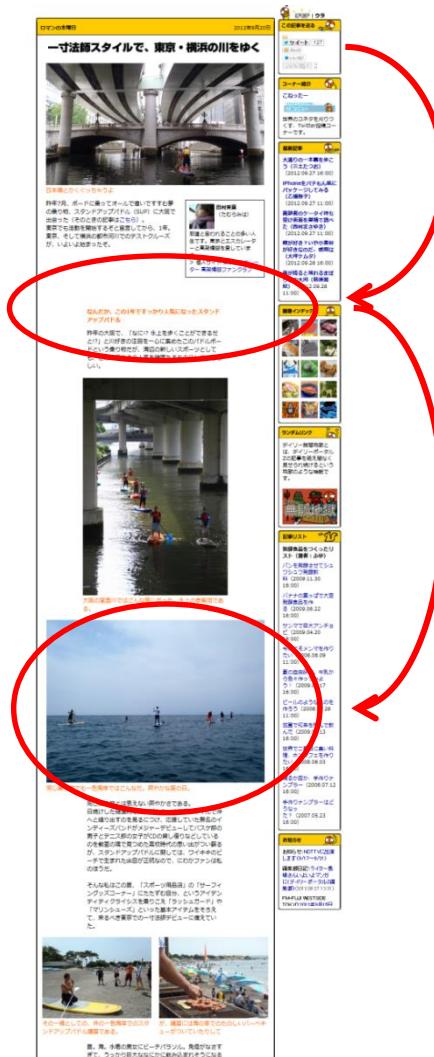
私事だが、B級グルメライターという仕事柄最近外食が多い。外食と言えば大体高脂肪高塩分、高カロリー



松本圭司  
(まつもとけいじ)

- ・ もったいぶらない
- ・ いちばんいい写真を頭に持ってくる
- ・ 誰も僕らに興味がないので、とにかく気を引く

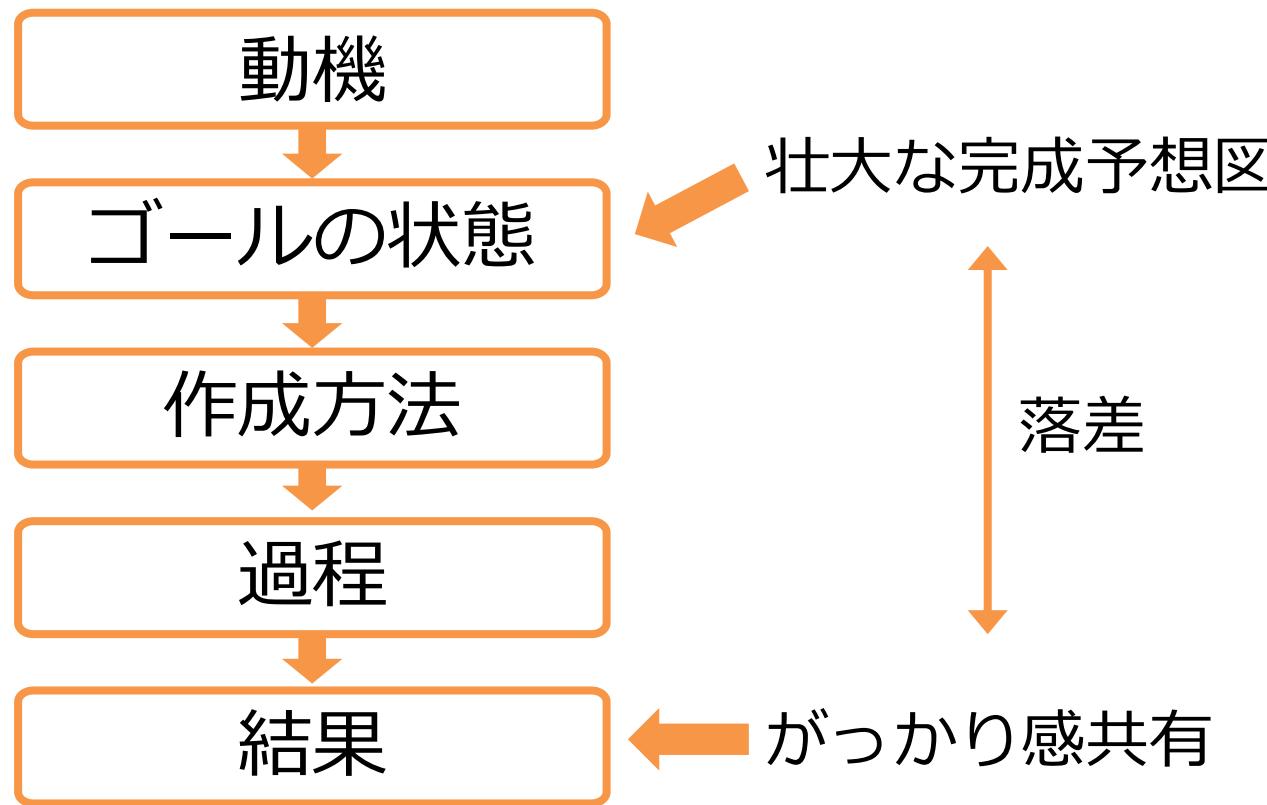
# 写真→キャプション→小見出し→本文



たいていの人は一直線には読まない。  
途中から読んでもなにをしているのかが分るような小見出しをつけておく

# 流れはオーソドックスがおすすめ

わかりにくいくることをしているので、説明はせめて分かりやすく



# かたく書く

- ・ふざけた内容なので、しっかりした文章のほうがもっともらしく見える
- ・だである体のほうがおもしろくなりやすい
- ・ばかなことほどグラフを入れる
- ・でも漢字は使わない

飲まない人はその分食べるって本当ですか ~お酒のことわざ飲み会シリーズ

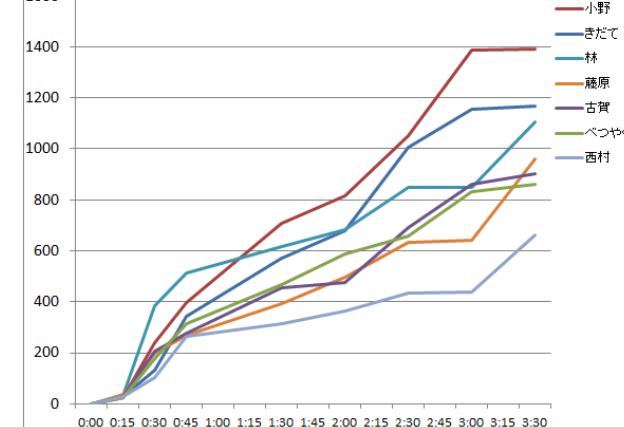


おつまみは全部計量してから食べる飲み会開催！ 飲む人、飲まない人でどれくらいおつまみ摂取量が違うのか

ことわざに「下戸の肴荒らし」というものがある。意味を調べると「下戸は酒を飲まない代わりに、料理を食い荒らす」と、飲まない派がどんな食いしん坊キャラとされている。



1979年東京生まれ、神奈川、埼玉



## 紋切り型の表現に注意

「出かけてみてはいかがでしょうか」  
→ 自分だったら本当にでかける？

「海の底のように深い」  
→ 見たことあるの？

ひとつひとつ疑って書くと、生々しい表現  
が出てきます（下手でもOK）

# 照れない

要らないことをやる理由は書き手の情熱だけ

照れるとなんでやっているのか読者もわからなくなる

文章はどうやっても独断と偏見

いいわけしたりばかすと読みにくくなる

# 写真の撮りかた

- ・テーブルを片付ける
- ・自然光
- ・人がいなくなるのを待つ
- ・ひとりのときは楽しそうに、大勢のときは楽しさ控えめに



## DPZライターに聞いた記事執筆のコツ

# ネタに困ったときのひねり出し方

## 普段から貯める

- ・ 街を歩いていて心がざわついたものになるべく写真に撮っているのですが、画像フォルダを見返したときになんか思いついたりします。 (井口)
- ・ 自分のTwitterをさかのぼって実現できる冗談がないか考えます。普段から冗談をつぶやいていると楽 (大北)
- ・ どこからでも見られる場所 (Googleドキュメントとかエバーノート) にネタ帳を置いておいて、気づいたことは常に単語レベルでも入れておくようにしています。困ったときにはそれを眺めていると、まったく別の企画が思いついたりするので、意味あるのかわからないですが、お守りみたいなものかも。 (安藤)

# ネタに困ったときのひねり出し方

## 思いつきやすい状況を作る

- 自分から遠いものを見たりします。人形作った時は、お母さんといっしょを見て思いつきました。（ぬっきい）
- テレビや人混みを観ながらひたすら疑問を探すのも良さそう。（ナルソン）
- ハンズかホームセンターに行っておかしなものを買ってきて外で使ったりします。（林）
- ネタに困ったらギャグ漫画を読んで脳みそをそっち寄りにするようになります。（さくらい）

# ネタに困ったときのひねり出し方

## すぐできるネタ（締め切り前）

- 企画趣旨の中に「すぐその場でやる」「その場にある道具を使う（そのへんの石とか）」というルールを入れ込むと、すぐにとりかかれます。たとえば今思いついたやつだと「何のレシピも見ずに完全に勘でうどんを発明する」とか（斎藤充博）
- とにかく手近にあるものでなんとかするため、こんな感じでネタをひねりだします。（古賀）
  - 自分が好きなものでなにかできないか考える（私の場合は、ビール、高級スーパー、さつまいもなど）
  - 自分の子どものころを思い出す（昔使っていた〇〇、場所、食べ物）
  - 家族になんかやらす（母を出す、父を出す、生きてる祖父母がいたら出す）

# 記事を書く手順

## 足していく人、引いていく人

- 最初は雑でいいからとりあえず最後まで書いて、後から肉付けしたり冗談入れたりして面白くしていきます。冒頭から順に全力で書いていくと途中で飽きるので（石川）
- 写真を並べたあと、ワードでテキストをわーっと書く。この時点では取材メモやボイスレコーダーを見直しながら書きたいことをとにかく全部書く。その後で半分くらい削ります。（安藤）

# 記事を書く手順

## 小技

- 最初は写真やメモを見ないで記憶を中心に書きます。覚えているということは印象が強かったことなので、書くべきことだと思います。  
(地主)
- インタビューした文字をそのまま起こす。方言も倒置法も全部起こす。それを切った貼ったしてぎゅっと濃縮すると、生っぽくて濃いインタビュー文ができます。  
(大北)
- 書き始めると文章はどこに行くかわからないので、入れておきたい文章は先にワードの後ろの方に書いておきます。でも文章の流れでそれすら無視があるのでそういうときは諦めます。  
(林)

# 記事を書く手順

## 多くの人がやっていること

- 書いたら（すぐではなく）寝かせてから推敲する
- 第三者（身内など）に読んでもらう